



メロン、丸い形は地球に見える？メロンのようにおいしく、その表面の網目のように緻密なネットワークを広げる月刊情報誌をめざします！

巻頭	「フォーラムシアターから考える多様性」実施レポート …… 1	紹介	コム・カフェシェフ紹介 フランクリンさん (キューバ) …… 4
報告	箕面市新改革プラン…その後 (3) …… 2	カレンダー	2021年9月の comm cafe ランチカレンダー …… 5
コラム	『他者の靴を履く』アナーキック・エンパシーのすすめ …… 3	お知らせ	協会・他団体からのお知らせ …… 6

「フォーラムシアターから考える多様性」実施レポート

2021年7月22日@箕面市立多文化交流センター

多様性ってなに？多様性を尊重するってどういうこと？大事にしたい視点や配慮してほしいポイントは人それぞれ。だからこま難しく感じ、少し身構えてしまう多様性について、フォーラムシアターという新しい手法を取り入れながら考えている。

フォーラムシアターとは？

あまり聞きなれない「フォーラムシアター」。これは1970年代、ブラジルの演出家アウグスト・ボアルが生み出した「被抑圧者の演劇」の一手法で、対話型で問題解決を探るプログラムだ。社会問題を数分の短い劇として上演し、それを見る参加者と一緒に討論(フォーラム)と劇(シアター)を繰り返す。観客は一度劇を見た後、役者1人と交代し、自分がその場にいた場合どのように振舞うかを演じて見せ、解決策を実践する。演劇というフィクションの場で、日常で遭遇する可能性のある状況について考え、行動することで、実際にそのような場面に遭遇したとき、意識的・能動的にその状況に関わる力がつくことが期待されている。社会問題などの討論・解決を目的として、ヨーロッパやアメリカ等で実施されている手法だ。

身体で概念を表現する

日本ではまだ取り組みの少ないフォーラムシアターを実施してくれたのは、多様性や多文化共生を促進するプロジェクト「Bridge Project」を立ち上げ活動す

うちやまゆいから内山唯日さん。自身のルーツの1つであるイタリアで大学までを過ごし、中国の大学院では人類学を専攻、日本では日本語講師や多様性ファシリテーターとして活動している。ヨーロッパが難民危機に直面していた時期に、現地でフォーラムシアターの手法を学んだ。

今回は、フォーラムシアターに入る前にいくつかのアイスブレイクも取り入れられた。例えば、「生徒」や「ボランティア」から思い浮かべるイメージを自身の身体を使って表現したり、「権力」を表現するにあたり、前の人が表示した「権力」よりもさらに強い「権力」のイメージを表現していったりという具合だ。参加者は協会で活動するボランティアと職員で、年齢も立場もさまざまだ。「生徒」と聞いて勉強する格好をする人がいれば、整列するイメージで直立不動で立つ人もいる。自分は今学生だからと、特にポーズをせずに素の自分を表す人もいた。このようなワークを重ねることで、場の雰囲気や参加者の身体、



発行・差出人：公益財団法人箕面市国際交流協会 (MAFGA)

〒562-0032 大阪府箕面市小野原西5-2-36 箕面市立多文化交流センター内

Tel : 072-727-6912 Fax : 072-727-6920 E-mail : info@mafga.or.jp HP : www.mafga.or.jp

賛助会員数：260名 法人会員数：27団体 (2021年8月20日現在)

思考がほぐれていくと同時に、同じ言葉でも人によってイメージされるものの多様さが垣間見れた。



講師の内山唯日さん

寸劇鑑賞と討論と演技の実践と

今回は、事前に協会職員が寸劇の台本を作成し、職員を中心とする演者が寸劇を披露した。舞台はコンビニエンスストアのバックヤード。学費や生活費のために深夜も働きたい女子大学生バイトに対して、女性には危ない・体力がないから止めておいた方がいいと女子大生バイトを諭す男性先輩スタッフ、そしてそれを取り巻く店長や他のスタッフたちとのやりとりだ。先輩が繰り返す、「あなたを心配してこそ、あなたを思ってこそそのアドバイス」は本当に配慮と言えるのか。女子大学生バイトの希望や事情はどこで消化されるのか。先輩スタッフが危惧する防犯面は確かに一理ある気もするし、でも一方で女性をステレオタイプ化し過ぎではないかなど、参加者はそれぞれが解決策や改善案を考えて意見交換をしながら、演者と交代して実際に演じてみる。それによって問題点や場の様子にどのような変化があったか、その方法は現実的に可能なのかなどをさらに議論し、演技を続けていった。

「正解」と多様性

結論として、これで解決だと声高々に宣言できるような解決策が導かれた訳ではない。議論と演技の実践が一通り落ち着いた後も、実際はそんなに上手くいくだ

ろうか、その後の職場の雰囲気や人間関係は悪くならないだろうかなどの意見が出される。また、参加者がそれぞれの頭にある現実の場面と照らし合わせて考えている様子も印象的だった。このようなワークショップでは何が最も有効な解決策なのか結論を出すことはできないし、今回のワークもそれをめざしていた訳ではない。そのため、参加者から結論や正解がないことに対して「すっきりしない」という感想が出てきたのも無理はないことだと言える。しかし、多様性に取り組むとき、「すっきりしない」感覚はとても大切だと思う。人にはそれぞれの視点があり、経験や知識に基づいたさまざまな意見や価値観がある。「正解」は1つではないことも多く、そもそもその「正解」も声を上げられない人や声を上げてほしいと教えられてこなかった人の存在を蔑ろにして形成された可能性もある。

多様性は文字通り多様で、面倒な一面があるのも事実だ。しかし、だからこそ自分や相手が受け入れられ、豊かで持続可能な社会を作っていくのではないだろうか。多様性に気づきその理解に努めることは、自分が自分らしく生きることにもつながる。多様性の理解は自分を理解することとも言えるのかもしれない。協会では、今後も内山さんの協力を得て、フォーラムシアターを通じた多様性の探求を続けていく予定だ。(樋野)



「男性」のイメージを身体で表現中!

箕面市新改革プラン…その後 (3)

めろん7月号では「新改革プラン…その後」と題して、協会とメイプル文化財団との統合案に関して、6月2日に行われた市議会文教常任委員会での質疑の内容をお伝えした。市側が「両財団の良さを引き出すために、まずは船場地区を拠点としたイベントの協業、協働をしながら、文化国際交流の更なる発展の議論を行う」と答弁した内容だった。今回はその後の状況をお伝えする。

「MAFGAの存続と発展を願う市民の会」によると、同会が本年3月に提出していた「MAFGAの存続を求める」要望書に対して、市議会(議長名、6月29日付)および市(市長名、7月12日付)からそれぞれ回答書が届いたとのことだ。市からの回答は、6月2日の文教常任委員会での市側答弁とほぼ同趣旨。「…新改革プランではMAFGAとメイプル文化財団の統合を進めようという大きな目標があるが、これまでの動きでは少し統合に走りすぎていた部分があった。…船場地区で外国人・日本人関係なく多くの市民の方が気軽に行えるような新たな取り組みを実現していく。…」という内容だった。

7月11日には、箕面市主催の「箕面船場における文化芸術国際交流のまちづくりシンポジウム」(オンライン開催)が開催された。その内容はYouTubeで視聴することができる。(https://www.youtube.com/watch?v=T3TjmJzzCBs) また、箕面市は6月から有識者や協会を含む市内関係団体に呼び掛けて「箕面船場における文化芸術国際交流のまちづくりワークショップ」が立ち上がって



いる。上記のシンポジウムはその関係者のうちの数名が登壇して、意見を交わしたものだ。

こうした動きと並行して、協会は大阪大学と連携した事業の実施についていくつかの取り組みを準備中だ。10月2日(土)、3日(日)には、大阪大学の学生が中心となって「箕面国際フェスティバル」が新箕面キャンパスで開催され、協会も企画や飲食ブースでの出展を行う予定である。

新改革プランから始まった議論は、船場地域での多様な人々たちによる新たな取り組みの模索という次の段階に入ったようだ。めろんでは、その様子について今後もお伝えしていく。(めろん編集グループ)



『他者の靴を履く～アナーキック・エンパシーのすすめ～』

スレイディみかこ著 (文藝春秋)

以前「めろん」でも取り上げた『僕はイエローでホワイトで、ちょっとブルー』の副読本。アイルランド人と結婚した著者が住むのは、英国スライトン。中学校に通う息子の、「エンパシーとは何か」という試験問題に対する答えが「誰かの靴を履いてみること」だった。

【めざしとエンパシー】

シンパシー (sympathy) は同情とか同意、理解など内側から湧いてくるものだが、エンパシー (empathy) は、他者の感情や経験などを理解する能力で、その人の立場だったら自分はどうかと想像してみる知的作業になる。エンパシーはいくつかに分類されるが、著者が関心を持っているのは、コグニティヴ・エンパシー (認知的共感) といい、誰かや誰かの状況に投射して理解するのではなく、他者を他者としてそのまま知ろうとすることだ。そして、エンパシーの達人としてあげるのが、大正時代の無政府主義者、朴烈 (パク・ヨル) のパートナーで、大逆罪の容疑で死刑判決を受けた金子文子である。刑務所で満足に食事も与えられない中、女看守が焼くめざしの匂いを嗅いで、その質素な暮らしぶりを想像する。あの人の生活も楽ではないのだろう、と。著者はこれをエンパシーと捉え、アナーキーと繋がっているのではないかと考えた。「アナーキー」は暴力や無法状態と結び付けられて考えられやすい。しかし、その本来の定義は、自由な個人たちが自由に協働し、常に現状を疑い、より良い状況に変える道を共に探していくことで、構成員たちのために機能しなくなった組織を、下側から自由に人々が問い、自由に取り壊して作り変えることができるマインドセットのことである。



【コロナ禍で】

コロナ禍勃発当初に英国では、平時では絶対に知らない人に明かさないうらやましい電話番号やメールアドレスを書いて「自分にできることは何でもやるので、困っている人は連絡をくれ」というチラシを家の外壁に貼る人や、「老人や感染者を支援するグルーブを作りたい」という手作りのフライヤー (チラシ) を近所の家のレターボックスに入れまくった人など、「助け合いたい」人間の欲望がストリートで爆発していた。これらは、アナーキーな欲望に基づく相互扶助の例である。

【トランスもエンパシーの達人?】

フリッツ・スライトハウストによれば、ドナルド・トランスは、他者からのエンパシーを集めるのが得意だという。彼の、世界を敵に回して戦っているかのようなナラティブ (語り) が、他者に対するエンパシーを働かせやすい (強烈な自我を持つ人に弱い) を引き寄せるのだ。それは「なんであの人か」という、他者への思いやりがありそうな人がトランスを支持している事実を理解する上で役立つかもしれない、と著者はいう。

気をつけなければいけないのは、「他者の靴を履くこと」と「他者の顔色を窺うこと」は紙一重であることだ。たとえば、政府が財政規律を名目に医療や福祉への支出を削ったとして、庶民が我慢しよう、と支持するのは、エンパシーを搾取された状態になるのである。

以上、作品のごく一部を紹介した。さまざまな文献からの引用が多く、その意味で拡散的であるが、紹介されている学者や作家の書いたものを手に取ってみるのも理解を深めるのによいだろう。ひと昔前では考えられないほど多様性に関するワードが世にあふれ、ネット環境の充実によって行動様式も変容を続ける昨今、エンパシーは重要な概念である。エンパシーの対象が自己になったような感情移入をし、自分を明け渡してしまわないよう、アナーキー (あらゆる支配への拒否) という軸をしっかり持たなければ、エンパシーは毒性のあるものになってしまうという作者の視点は示唆に富む。(山下)



コムカフェ・シェフ紹介

フランクリンさん (ヘルナンデス・ヘルナンデス・フランクリン・ミチエル)

フランクリンさんは、キューバ共和国の首都ハバナの出身である。ハバナ大学で日本の歴史を学び、昨年(2020年)10月に来日、この秋から阪大大学院で日本の歴史、特に天皇制について研究する予定である。卒業後もアジアの歴史について研究しながら日本で暮らし、将来は国際関係の仕事に就きたいという。日本への興味はいつから?の問いには、中学生の頃「日本のアニメ「ワンピース」や「ナルト」が大好きだったそうで、日本の事もたくさん学び来日されたそうだ。日本語は難しかったけれど、すぐ話せるようになったので困らなかった。

2019年に旅行で、東京・広島を訪れたが、その時の日本の印象を尋ねると、町にゴミがないこと、電車が静かだったことなど。また、「寿司がおいしくて、たくさん食べた。30皿くらいかな?」にはこちらがびっくり。キューバは海に囲まれているため魚は豊富に獲れるが、暑い国なので傷んでしまう。焼いたり炒めたりして食べるのが普通で生で食べる習慣はないという。初めての経験だったそうで、今も寿司はマグロのトロや、ウナギも大好きと言う。

キューバは1492年コロンブスが到着した後スペインに征服された。この時スペインによりインディオと呼ばれた先住民は絶滅。その後アフリカから奴隷が連れてこられ、スペイン系ヨーロッパ人や中国などアジアからの移民も流入し、1902年にスペインから独立したものの、1959年にキューバ革命が起こるまではアメリカによる統治が続いたという歴史を持つ。

そのため、料理も多国籍と言えるかもしれない。フランクリンさんは、料理上手の母に教わり、小学生の頃から働く母のために食事作りをしてきたので、料理は得意である。コムカフェでも味付けには定評があり、この日のメニューも非常においしく味もバラエティに富んだものだった。「学者になるより、シェフになって」と言うボランティアのひそかな声も聞こえてくる。フランクリンさん自身は、「コムカフェは人材の宝庫、いろいろな人とつながることで世界が見えてくる。カフェの仕事は大変だが、日本の人たちに自分の料理をおいしいと食べてもらう事がうれしい」そうだ。



- クミンとレモン風味のチキン (スペイン風)
- ひよこ豆のスープ (アフリカ風)
- トウモロコシのコロッケ (アメリカ風)
- きゅうりのサラダ (スペイン風)
- お米のミルクデザート (トルコ風)

デザートはココナッツに砂糖を加えたものなどが多く、ココナッツプリンも美味しい。

お祝いの時には、マカロニサラダをよく食べるそうである。コーヒー栽培も盛んでよく飲まれている。

キューバは教育にも力を入れ、識字率も99.8%(15歳以上)と高くラテンアメリカ内では最高水準と言われる。理由はスペインからの独立後も「アメリカに半植民地にされたのはアメリカのプロパガンダを国民が見抜けなかったから」というフィデル・カストロの考えからだという。日本とは1902年に国交樹立、1941年第二次世界大戦のため中断したが、1952年に国交回復し日本大使館もハバナにあり友好関係が続いている。地理的には遠い国であるが、これからもフランクリンさんのような若い人たちが交流を進めていってほしいと願っている。(井嶋)

胃腸科 内科 外科 肛門科 リハビリテーション科 おざわクリニック

診療時間	月	火	水	木	金	土
am9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
pm1:00~3:00(胃カメ)	□	□	□	□	□	□
pm5:00~7:30	○	○	○	○	○	○

※診療開始 30分前から受付します。

■胃カメは予約制です。

■休診日: 土曜日午後・木曜日・日曜日・祝日

■http://ozawa-clinic.world.coocan.jp/

【住所】〒562-0023

箕面市粟生間谷西3-7-9 シャトー野間1F

阪急バス停留所「空の前」スーパーマルヤス向い

☑無料駐車場有

TEL: 072-730-0721



エスパーロ

能勢

espero nase

フェアトレード雑貨と古民家カフェ

豊能郡能勢町地黄476

営業時間: 金~月 11:00 ~ 17:00

http://espero-osaka.com/

箕面市国際交流協会の 多言語による生活相談窓口

電話 072-727-6912
(日本語・英語)

メール soudan@mafga.or.jp

子育てや教育、仕事、医療、福祉、在留資格など、生活での悩みや困りごとに対応します。秘密厳守。相談は無料です。

日時: 火曜日から日曜日 9:00~17:00

受付方法: 来館、メール、電話

対応言語: 日本語、韓国語、朝鮮語、

中国語、英語、ポルトガル語

場所: 箕面市立多文化交流センター

9月
September



comm cafe ランチカレンダー

コムカフェ

火～土

9:30 - モーニング (11:00am L.O.)
 9:30 - 11:30 朝カフェ
 11:30 - 14:00 ランチタイム *売り切れ次第終了します
 - フルメニュー ¥880
 - 限定メニュー ¥770
 14:00 - 17:00 午後カフェ

日・祝日

* ランチはありません

9:30 - モーニング (11:00am L.O.)
 10:00 - 13:00 世界の朝ごはん ¥660 (ドリンク付)
 9:30 - 15:00 プランチセット ¥510 (ドリンク付)

おしらせ

■ コロナウイルス感染拡大防止対策のため、
テイクアウトのみの営業となります。
 お弁当のご予約お待ちしております！

→ ご予約 (comm cafe 直通) **072-734-6255**

9/12 は【世界の朝ごはん】に
 中国のメニューが新登場！
 豚肉とフェネルを包んだ
 手作り水餃子 10コ 660円です。

ス… スナック or スウィーツの日 ㊦… カフェで開催するイベント

げつようび	かようび	すいようび	もくようび	きんようび	どうようび	にちようび
		1 スナッチェット (9:30 ~ 15:00) ス MAFGA スナック	2 スナッチェット (9:30 ~ 15:00) ス MAFGA スナック	3 ノックさん 《タイ》	4 フランクリンさん 《キューバ》	5 スナッチェット (9:30 ~ 15:00) 世界の朝ごはん 《ロシア》 10:00 ~ 13:00
コロナウイルス感染拡大防止のため、コムカフェはテイクアウトのみです。						
6 休館日	7 コフさん 《タイ》	8 李さん 《コリア》	9 クラウディアさん 《メキシコ》	10 スナッチェット (9:30 ~ 15:00) ス MAFGA スナック	11 アイリンさん 《イラン》	12 スナッチェット (9:30 ~ 15:00) 世界の朝ごはん 《中国》 10:00 ~ 13:00
コロナウイルス感染拡大防止のため、コムカフェはテイクアウトのみです。						
13 休館日	14 ノックさん 《タイ》	15 スナッチェット (9:30 ~ 15:00) ス MAFGA スナック	16 山口さん 《中国》	17 アイリンさん 《イラン》	18 トゥエットさん 《ベトナム》	19 スナッチェット (9:30 ~ 15:00) 世界の朝ごはん 《ベラルーシ》 10:00 ~ 13:00
コロナウイルス感染拡大防止のため、コムカフェはテイクアウトのみです。						
20 [祝日] スナッチェット (9:30 ~ 15:00) ス MAFGA スナック	21 いずみさん 《ベトナム》	22 ルーパさん 《インド》	23 スナッチェット (9:30 ~ 15:00) [祝日] ス MAFGA スナック	24 スナッチェット (9:30 ~ 15:00) ス MAFGA スナック	25 スナッチェット (9:30 ~ 15:00) ス MAFGA スナック	26 スナッチェット (9:30 ~ 15:00) 世界の朝ごはん 《トルコ》 10:00 ~ 13:00
コロナウイルス感染拡大防止のため、コムカフェはテイクアウトのみです。						
27 休館日	28 協会主催事業のため ランチはお休みです。	29 ルーパさん 《インド》	30 フランクリンさん 《キューバ》			

★コロナウイルス感染拡大防止対策のため変更になる場合があります。最新情報は、Facebook を確認ください。

- ベジタリアン、ハラール、アレルギー対応については、カフェのスタッフまでお気軽にお尋ねください。
- メニューやシェフは変わることもあります。また急きょ、協会主催事業により貸切になることもあります。
- 詳細は、Facebook をご覧ください。 <https://www.facebook.com/mafgachallengecafe>



国際交流協会 (MAFGA) からのお知らせ

下記についての問合せ・申込みは (公財) 箕面市国際交流協会まで ※開催場所: 箕面市立多文化交流センター

☎: **072-727-6912** FAX: **072-727-6920** ✉: **info@mafga.or.jp**

イベントの内容が変更、延期、または中止になる可能性があります。最新情報は協会 HP を確認ください。www.mafga.or.jp

定例 イ ベ ン ト	読書会 9/12 (日) 10:30 ~ 12:00	多文化共理解のための読書会 「ある在日コリアン家族の物語 つないで、手と心と思い〜絵と物語で読む在日 100 年史」を読む。 本を読んで集まり、感じたこと、考えたことを話しましょう。 申込みくださった方には、本をお貸しします。(要返却)	定員 : 10 名 (要申込) 場所 : オンライン (Zoom) 参加費 : 無料
	読書会 9/19 (日) 14:00 ~ 16:00	Sunday Book Review 英語の原書を一緒に読みましょう! 読む本: The Remains of the Day / 日の名残り 著者: Kazuo Ishiguro / カズオ イシグロ	場所 : 講座室 参加費: 300 円 + ドリンク代 申込み: 初参加の場合要申込
	上映会 9/25 (土) 18:00 ~ 20:00	みのお cinema 上映会 毎月 1 本、視点を豊かにする映画を上映 【上映作品】 プラスチックの海 A PLASTIC OCEAN 監督: クレイグ・リーソン / 100 分 / 2016 年 / イギリス・香港 海洋プラスチックについてのドキュメンタリー映画を上映。 上映後に感想交流会あり。(オンライン併用)	定員 : 10 名 (要申込) 場所 : comm cafe 参加費: 一般 700 円 賛助会員・大学生以下 無料 (+ ドリンク代 300 円~)
	多文化体験 9/4 (土) ① 13:30 ~ 14:30 ② 14:45 ~ 15:45	多文化体験・交流・学びクラブ まふがっこ 2021 年度も地域の子どもたちを対象に、地域に暮らす外国人市民との 交流を通して、多文化を体験する連続講座で、直接文化にふれよう! 【テーマ】 イランの文化と遊び 講師: ファテメ・モタバリプール ▶ 次回: 10/2 チン・ガセイ (中国の文化と遊び)	対象 : 小学生 定員 : ①②の時間帯で 各回 5 名 (要申込) 場所 : オンライン (Zoom) 参加費: 無料
	企業向け ① 9/17 (金) ② 12/17 (金) 14:30-16:00	企業向け 外国人人材活用セミナー ① 1000 社以上のデータから見る、外国人人材を受け入れた成功 企業の傾向、多様性のある企業の成功事例、他 ◎佐々木順一 (一財) 大阪労働協会人材開発部部長 ② 日本ではたらいっている外国人の体験談 他 ◎協会職員	対象 : 外国人市民の雇用を検討している企業 外国人市民を雇用している企業 定員 : 10 団体 (要申込) 場所 : 講座室 参加費: 無料

秋の多文化ボランティアセミナー

10/9

(土)

13:30-16:00

13:30-14:00 国際交流協会の紹介

◎講師: 公益財団法人箕面市国際交流協会 職員

14:00-16:00 講演&ワークショップ
多様性社会の作り方 ~身近な人にどう働きかける?!

◎講師: 北川知子 (NPO 法人とんだばやし国際交流協会理事長)

14:00-16:00 講演
身近なフクワクの作り方 ~自分の町はもっと楽しくなる!~

◎講師: 森本アリ (旧グッゲンハイム邸管理人・音楽家)

16:00-17:00 ボランティア活動紹介

◎協会で活動するボランティア団体

定員 : 40 名 (要申込)

場所 : 講座室

参加費 : 550 円 / 日

賛助会員: 無料

保育 : あり (3 名・要申込)

10/16

(土)

14:00-17:00

唐木幸子バレエスタジオ ~箕面の地で 40 年の歴史~

*バレエコース: 「ロシア国立ペルミバレエ学校日本校」のバレエ教授法取得証明書 (Dipolma) や、日本徒手療法師会より「徒手療法師」の資格認定を与えられた姿勢調整師でもある指導者が、丁寧に分かりやすく指導致します。「バレエは芸術」として長く続けられるように、また中高生には学業と両立できるよう配慮しています。3 才 ~ 80 才位の年齢層まで、目的に合わせて気軽に楽しく始められます。

*健康コース: 徒手療法師の資格を持ったバレエ指導者 (姿勢科学士) が健康維持を目的とした姿勢調整を致します。

〒562-0041 箕面市桜 4-1-24 阪急牧落駅西側右斜め前 (駅より 30M)

 072-721-6300 / 721-2576 <http://www.karaki-sachiko-ballet.com/>

(公社) 日本バレエ協会会員・AODT 会員



他団体からのお知らせ

問合せ・申込みはそれぞれの各団体へお願いします。
 コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントの内容が変更、延期、または中止になる可能性があります。

セミナー

日常のメディアとの向き合い方～人権の視点から

① 9/1 (水)
 ② 9/8 (水)
 14:00-16:00

メディアから得た情報を見極めるスキルを身に着けませんが。
 ①入門編 ・メディアリテラシーの定義 / 基本概念を学ぶ
 ②応用編 ・メディアが伝えるものの考え方を多面的に読み解く など
 (どちらか1回でも参加できます。)
 ファシリテーター: とよなかメディアプロジェクト (西村寿子、田島知之)

場所 : 人権平和センター豊中
 (豊中市岡町北 3-13-7)

参加費: 無料
 定員 : 各 30 名 (要申込)
 主催・申込: 06-6841-5300
 (一財) とよなか人権文化まちづくり協会

オンライン

第 81 回教育カフェ・マラソン～ゲスト: 玉木幸則

9/3 (金)
 19:00-21:30

教育や生き方について対話の文化を市民レベルで深めたいと 2012 年にスタート。話題提供者からのお話の後、参加者同士での「対話」を通して考えを深める。
 話題提供者: 玉木幸則 (一般社団法人兵庫県相談支援ネットワーク代表理事) Eテレみんなのためのバリアフリーバラエティー「バリバラ」にレギュラー出演中

場所 : オンライン (Zoom)

参加費: 700 円
 定員 : 35 名
 主催 : 認定 NPO 法人コクレオの森
<https://cokreono-mori.com>

オンライン上映会

「インディペンデントリビング」上映会 @ パパニューギニア海産

9/4 (土)
 13:00-15:50

大阪にある自立生活センターを取材し、それぞれ障害を抱えながらも地域コミュニティで自立した生活を送るため奮闘する人々を捉えたドキュメンタリー映画を上映する。作品上映後、感想交流会あり。
 監督 田中悠輝 / 2019 年制作 / 98 分 / 日本
 ＊お名前 (参加者全員)、電話番号、メールアドレスをメールで申込

場所 : オンライン (Zoom)

参加費: 1200 円
 主催・申込 :
 (株) パパニューギニア海産
chikyutotomoni@gmail.com
<http://pngebi.greenwebs.net/>

映画上映会

みのお cinema 上映会 2021 @ みのお市民活動センター

9/4 (土)
 18:30-20:30

ハイチ・アフリカを主な舞台に、途上国支援について問題提起するドキュメンタリー映画の上映。作品上映後、感想交流会あり。
 上映作品【ボバティエ・インク あなたの寄付の不都合な真実】
 監督 マイケル・マシスン・ミラー / 2014 年制作 / 91 分 / アメリカ
 ★オンラインを併用。詳しくは主催者まで。

場所 : みのお市民活動センター
 (箕面市坊島 45-20)

参加費: 一般...700 円
 学生、市民活動フォーラムの会員...無料
 定員 : 10 名 (要申込)
 主催・申込: 072-722-2666
 市民活動フォーラムみのお

講演会

私たちが積み上げてきたものから いま、アフガニスタンを考える

9/11 (土)
 13:30-15:30

長年アフガニスタンの市民に寄り添う活動を続けてこられた 3 名が、今の思い、そしてこれからについて語る。
 ◎西垣敬子 (宝塚・アフガニスタン友好協会)
 ◎桐生佳子 (RAWA と連帯する会)
 ◎中道貞子 (チャプダラ校支援の会・奈良女子国際交流センター)

場所 : オンライン (Zoom)

参加費: 無料
 申込: フォーム
 問合せ:
teikonakamichi@hotmail.co.jp

映画祭

第 14 回関西クィア映画祭 2021

9/18 (土)
 9/20 (月・祝)

「性」をテーマにしたお祭り。11 の国と地域から、21 の作品を上映します。オススメ! は、日本プレミアとなる、【未来はわたしたちのもの】ドイツに生きるイラン系移民の若者の「今」を描いた、若手監督のみずみずしい感性が光る長編作品。大阪 (9/18 10:40) / 京都 (9/19 17:30)
 ★オンライン企画もあり。詳しいスケジュールは、HP を確認!

場所 : ①シアターセブン (大阪・十三)
 ②ゲーテ・インスティテュート・ヴィラ鴨川
 (京都・出町柳)

参加費: 1 回券前売 1,300 円
 当日 1,600 円 他 お得なパス等あり
 主催 : 関西クィア映画祭実行委員会
<https://kansai-qff.org/>

クラファン

クラウドファンディング実施中!

9/26 (日)
 23:59 まで!

学校現場の声を見える化し、対話の文化をつくるためのプラットフォームを作りたい!

学校をよくしていくためのヒントが詰まっている「現場の教職員の声」を「見える化」して社会に届けるために、力を貸してください。寄付の他にも、情報を SNS でシェアして、友人・同僚との会話で話題にする、チラシを職場で掲示する、現役教職員の方はユーザー登録をするなど、サポートの仕方は様々。 #SchoolVoiceProject で検索を!

主催 : School Voice Project
 クラファンや、活動についての詳細は
<https://camp-fire.jp/projects/461050/activities/292736#main>
<https://school-voice-pj.net/>



coupe de Minami

スクール coupe de MINAMI 南プロカッティング研究所

町屋で楽しく洋服をつくってみませんか?



ボディに布を直接
 のせて服をつくって
 みましょう!
 (立体的裁断)

南正枝 プロフィール (略歴)

昭和 42~45 年 フランス・パリの洋裁学校にて立体的裁断、デザイン等を修得
 昭和 45~47 年 カネボウ Christian Dior アトリエでデザイナー
 昭和 47 年以降 大学および専門学校での講師経験多数

◆リフォームや服のお仕立てもいたします! ◆パターンや立体的裁断も教えます。◆詳細はホームページあるいは下記まで直接お電話ください!

●問合せ: 〒562-0012 箕面市白島 2-2-30 電話 / FAX 072 (721) 4151
 E-mail info@coupe-de-minami.com URL <http://www.coupe-de-minami.com>

めろん編集ボランティアスタッフ 募集中!

「めろん」は箕面市国際交流協会と協会ボランティアが協働し、地域の多様性を高める情報をみなさんにお届けしています。取材に行ったり、記事を書いたり、誌面をいっしょに作るボランティアを募集しています。イベントやセミナーの企画や勉強会なども行います。多文化共生に関心のある方、ぜひご参加ください!! 会議の日程は変更になる場合がありますので、参加される際は、事前に協会までお問合せください。

めろんの広報にご協力ください!

「めろん」をより多くの方に知ってもらうために、自治会やPTA、同窓会、研修、セミナーや授業など様々な催しで、地域から多文化共生を考えるためのツールとして配ってくださいますか。置いてくださるお店なども大歓迎! フォームから必要事項を記入ください。



編 集 後 記

今月号から新しくめろん編集部に加わりました、日本語教育を学ぶ大学生です。めろん編集部に参加したきっかけは、6月にイベント「MAFGA 職員と話そう!」で職員の岩城さんのお話を伺い、後日来館した際にめろん編集部へのお誘いをいただいたことです。関心があるのは、外国にルーツのある子どもに関わる分野全般です。学校での母語・母文化教育が国内で先進的な大阪府では、市や区によって独自の取り組みをしているため、学ぶことが日々多くあります。

また、comm cafeでもボランティアをしています。同じ大学の留学生や、専攻語のネイティブの先生と親しいシェフと一緒に働く機会があり、たくさんのつながりができる場だと感じています。カフェのキッチンには様々な言語が飛び交う空間で、日本語や英語に加えて、シェフとボランティア、シカモのメンバーとがお互いに母国語を使用しながらコミュニケーションをとっています。一方、注文が入った際は、言葉を交わさずとも協働しお弁当を完成させてゆく、刺激的で楽しいひとときです。

これから編集部の方々と共に原稿執筆に関わり、今年の10月からは留学先からも情報発信ができればと思っています。(西岡)



アクセスマップ



バス オレンジゆずるバス

- (平日・土曜) 黄ルート「多文化交流センター前」または赤ルート「小野原南」から西へ約550m
 - (日曜・祝日) 緑ルート「小野原西五丁目」から西へ約200m
- ※「多文化交流センター前」には停まりません。

阪急バス

出発	バス番号	最寄バス停
千里中央 北千里方面から	30, 55, 56 58, 59, 66	① 小野原 ② 小野原西
	175, 176	③ 小野原南
	70	④ 小野原西5丁目
	70, 78	⑤ 関西学院千里国際キャンパス
阪急石橋から JR茨木方面から	92	① 小野原 ② 小野原西

「めろん」編集スタッフ

【ボランティア】井嶋眞佐子、荻野克彦、崔聖子、中島美瑛、西岡夏希、山下三千世、結城なお、鷺尾則昭
【事務局】宇治野清隆、岩城あすか、河合大輔、末原真紀、中村由紀、鳥羽山良平

問合せ：(公財) 箕面市国際交流協会 〒562-0032 箕面市小野原西 5-2-36 多文化交流センター
Tel : 072-727-6912 Fax : 072-727-6920 E-mail : info@mafga.or.jp

HP : www.mafga.or.jp FB : facebook.com/Mafga みのお多言語ポータル : http://portal.mafga.or.jp/